

平成 28 年度 第 1 回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成 28 年 6 月 29 日（水） 14 時 00 分～14 時 45 分

2. 開催場所 東金市役所 3 階 第 1 委員会室

3. 出席者

【委員】 川嶋副会長、坂本委員、○早野委員（代理：深山氏）、笹尾委員、仲田委員、小川委員、三須委員、大塚委員、吉井委員、林委員、座古委員、小泉委員、岡本委員（後任：○佐瀬氏）、越川委員、○宮本委員、○小林委員、○澤田（恒）委員、○澤田（佳）委員、伊藤委員、○中村委員（市民福祉部長）、○今関委員（経済環境部長）、○猪野委員（都市建設部長）、○青木委員（教育部長）
○：新任委員紹介あり

（欠席） 齊藤会長、岡崎委員、矢野委員、千葉委員、関口委員

【事務局】 矢野企画政策部長、長尾企画課長、白鳥主幹、矢野統計調査係長、長井主任主事

4. 会議次第

1 開 会 長尾課長

・会議成立の報告

委員の過半数の出席（22 名出席、1 名遅刻）であり、東金市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、会議が成立していることの報告

2 川嶋副会長あいさつ

3 新任委員及び事務局紹介 資料 1

・会議の目的等の確認

- (1) 平成 27 年度事業報告・収支決算について（審議）
- (2) 平成 28 年度事業計画（案）・収支予算（案）について（審議）
- (3) デマンド型乗合タクシーの利用実績について（報告）
- (4) 市内循環バス（福岡路線・豊成路線）利用実績について（報告）
- (5) 平成 29 年度（H28.10-H29.9）地域内フィーダー系統確保維持事業について（審議）
- (6) その他

4 議 事 （議長 川嶋副会長）

- ・議事案件 (1) 矢野係長、(2) 長井主任主事、(3)・(4) 矢野係長、(5) 長井主任主事より説明・提案
- (1) 平成 27 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】 資料 2-1
《監査報告》 資料 2-2
 - (2) 平成 28 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算について【審議】 資料 3
 - (3) デマンド型乗合タクシーの利用実績について【報告】 資料 4-1、4-2
 - (4) 市内循環バス（福岡路線・豊成路線）利用実績について【報告】 資料 5-1、5-2
 - (5) 平成 28 年度（H27.10-H28.9）地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】 資料 6
 - (6) その他

5. 閉 会

【結果・決まったこと・次回の課題・今後の課題】

■ 議事

- (1) 平成 27 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について (資料 2-1)
承認
- (2) 平成 28 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について (資料 3)
承認
- (3) デマンド型乗合タクシーの利用実績 (H27 年度、H28 年度 4-5 月) について (資料 4-1、4-2)
今後の課題
平成 27 年度の利用者数は平成 26 年度と比較すると増加している一方、予約不成立件数 (1 日平均 1.85 件) やキャンセル件数 (1 日平均 3.05 件) が依然として高い。
- (4) 市内循環バス (福岡路線・豊成路線) 利用実績 (H27 年度、H28 年度 4-5 月) について
(資料 5-1、5-2)
今後の課題
平成 26 年度から平成 27 年度にかけて利用者数は増加した一方、土日運行や運行ルート上の木の枝の伐採等の課題が挙げられた。
- (5) 平成 28 年度 (H28.10-H29.9) 地域内フィーダー系統確保維持事業について (資料 6)
承認

○ 平成 27 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】 資料 2-1

(事務局) 【資料 2-1 について説明】

(監査委員) 【資料 2-2 により監査報告】

○ 平成 28 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について【審議】 資料 3

(事務局) 【資料 3 について説明】

○ デマンド型乗合タクシーの利用実績 (H27 年度、H28 年度 4-5 月) について【報告】

資料 4-1、4-2

(事務局) 【資料 4-1、4-2 について説明】

○ 市内循環バス (福岡路線・豊成路線) 利用実績 (H27 年度、H28 年度 4-5 月) について【報告】

資料 5-1、5-2

(事務局) 【資料 5-1、5-2 について説明】

(委員)

平成 26 年度から平成 27 年度にかけて利用者数が(市内循環バス 福岡路線の)増加したとのこと。乗合タクシーの運行により循環バスの利用者数が減少すると思われたが、増加しており、利用者のすみ分けが出来ていると考える。福岡地区循環バス推進委員会においても、引き続き利用者数を増やしていきたいと考えている。8 月 1 日からの二之袋への延伸・ダイヤ変更についても利用者増に繋がるのではと嬉しく思う。

(委員)

前回、行政負担率が高かったため、心配していたが、前年度と比較して循環バス(市内循環バス豊成路線)の利用者数が増加しており、胸を撫で下ろしている。

昨年度の4月、5月と比較して今年度は105人増加しており喜ばしい。増加した人数が無料の方だけでは経済的には問題があるが、数字を見ると有料の方の利用者数もかなり増えている。このままいけば良いと思う。

ひとつ気がかりなのは、利用者がどのバス停留所で乗降しているのかだと考える。肝心の豊成地区の利用者が少なく、市街地の方が多いのでは、本来の目的とは合わない。運行時間の短縮にも絡んでくるので、気がかりに思っている。

(事務局)

循環バスの運行見直し、評価基準の設定を予定している。無料の方も多いことを踏まえ、料金の設定も考慮に入れ、見直しをしていきたい。

(副会長)

八街市は土日にも(コミバスの)運行をしているが、なぜ東金市は実施していないのかという話が出ています。昨年の会議の場では、土日は家族の方が運転を出来るだろうとされていたが、一般市民の方はやはり土日の運行を求めていると思われる。今後の展望は如何。

(事務局)

(市内循環バスの)土日の運行等について様々な要望がある中、行政負担率等も踏まえ、今後の会議に諮っていきたい。

(委員)

(市内循環バス)福岡路線の運行ルート上の木の枝の伐採についてお願いがある。運行ルート上に木の枝が伸びている箇所があり、運行時にバス車両に当たってしまうことがある。伐採等の対応はしてもらえないか。市職員に循環バスに同乗してもらい、確認して欲しい。

(事務局)

同乗するかは別として、現地の状況を確認し、適宜対応していく。

(委員)

木の枝の伐採等については、福岡地区としても協力し対応していきたい。

○ 平成29年度(H28年10月-H29年9月)地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】資料6

(事務局：長井)

【資料6について説明】